

**福島県水田農業産地づくり対策等推進会議  
令和6年度第2回総会議事録**

**令和6年12月17日**

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議  
令和6年度第2回総会議事録

日 時：令和6年12月17日（火）14:00～  
場 所：ふくしま中町会館6階特別会議室

議事の経過及び内容

14時00分、JA福島中央会岩本食農振興担当部長（以下事務局長）の司会により、以下の順序に従って総会が進められた。

1. あいさつ  
今泉仁寿会長（JA福島中央会 常務理事）
2. 議長選出  
事務局長から、慣例により今泉会長が議長を務めることを提案。議場に諮り、議場の承認を得て会長が議長の就任あいさつをし、議事に入った。
3. 議事録署名人及び書記の選任  
議長から議事録署名人および書記の選任について議場に諮ったところ、議長一任に異議無しの意見があり、議事録署名人には福島県米穀肥料協同組合 磯貝理事長、福島県米麦事業協同組合 小木 理事長、書記に福島県農林水産部水田畑作課飯塚主査を選任した。
4. 定足数確認  
議長から本総会の定足数について報告を求められ、事務局長より会員団体数11団体のところ、代理出席および委任状を含め全会員出席により、総会の定足数に達していることを報告した。
5. 報告事項  
「報告第1号 令和6年度上期内部監査の結果」「報告第2号 水田農業をめぐる情勢」について議長から、事務局に説明を求めた。

報告事項説明

報告第1号、報告第2号を岩本事務局長より説明し、さらに関連して議長より東北農政局福島県拠点に補足説明を求めたところ松井地

方参事官より「引き続き農林水産省としても協力をしていくので、令和7年産米の需要に応じた生産・販売の推進をお願いしたい。」との発言があった。議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かった。

## 6. 議 題

議長より「議案第1号 令和7年産米の取り組みの基本方針（案）」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 J A中央会食農振興担当部長 岩本事務局長

引き続き、議長より「福島県産大豆の推進方針（案）」及び「福島県産麦の推進方針（案）」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 福島県農林水産部水田畑作課 遠藤課長

議長より議場に意見・質問を求めたところ、主食用米価格が上昇する中、一部の者のみが需要に応じた生産・販売の取り組みを続けることは困難であるとの意見があったことから、議論を進め、各地域農業再生協議会による方針作成者への協力依頼や、国や県による個別の集荷業者等への推進等、各団体が協力してこれまで以上に需要に応じた生産・販売の推進に取り組むこととされた。

議長より議場に挙手による採決を求めたところ全員賛成のため「議案第1号」は可決承認された。

議長より「議案第2号 令和7年産米の地域の合理的な単収の設定（案）」について事務局からの議案説明を求めた。

議案説明 福島県農林水産部水田畑作課 遠藤課長

議長より議場に意見・質問を求めたが特に無かったため、挙手による採決を求めたところ全員賛成のため「議案第2号」は可決承認された。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長および議事録署名人がここに署名し、押印する。

令和6年12月17日

議長  
福島県水田農業産地づくり対策等推進会議  
会長 今泉 仁寿 印

議事録署名人  
福島県米穀肥料協同組合  
理事長 磯貝 安昭 印

議事録署名人  
福島県米麦事業協同組合 理事長  
理事長 小木 義孝 印